令和３年度　学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和４年１月 31 日(月)　№12

みんなが　一つ　になって乗り越える

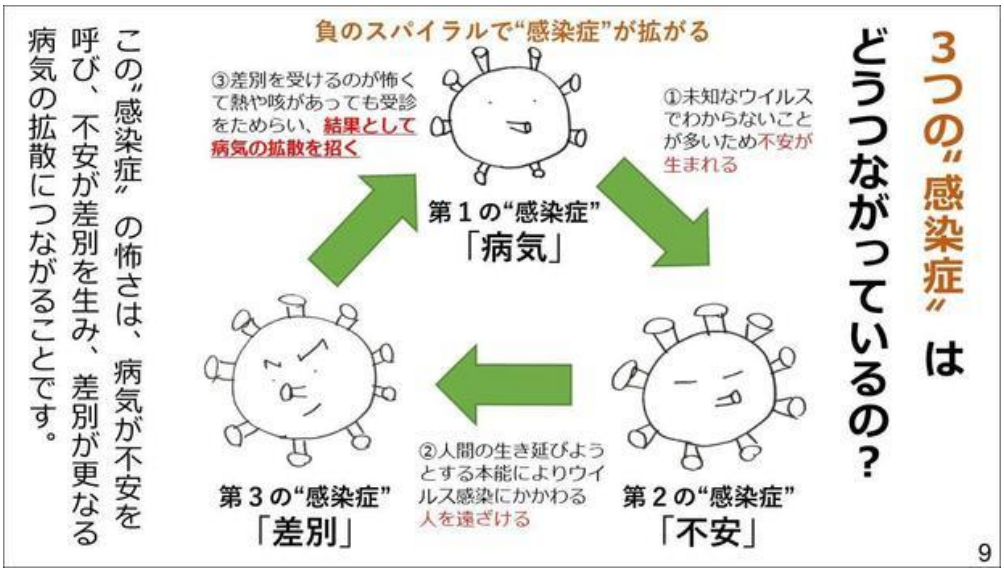
学校では、普段の生活の中や道徳の時間など様々な場面で、「思いやり」というものについて考えることを大切にしています。例えば、学級全員で一輪車に取り組んでいるとき、どんな言葉をかけ合うことが全体の成長につながるのか、自分たちの練習を振り返りながら考えています。また、ある学級では、毎日一人ずつその子のよさを見つけ、伝え合う取組をしながら、互いの存在の大切さを感じ合っています。

人は子供に限らず、弱いもので、頭では分かっていても、思いやりを欠いた言葉や態度を表してしまうことがあります。だからこそ、いろいろな場で、いっしょになって考えることが大切になるのでしょう。

新型コロナウイルス感染症が広がり、もうすぐ２年でしょうか。今また「オミクロン株」という変異株の出現で第６波が訪れました。あらゆるところで影響が出ています。本校も例外ではなく、３ 日間の臨時休業を行いました。再開時には、子供たちに、次のようなことを話し、各クラスでも確認しました。

- これまでしてきた予防を一人ひとりがこれからもしっかりとやっていこう。
- 感染症はだれもが感染する可能性があり、他人事ではない。軽はずみな言葉が相手を傷つけることもあるので、もし自分ならと考えた「思いやり」の心を大切にしよう。

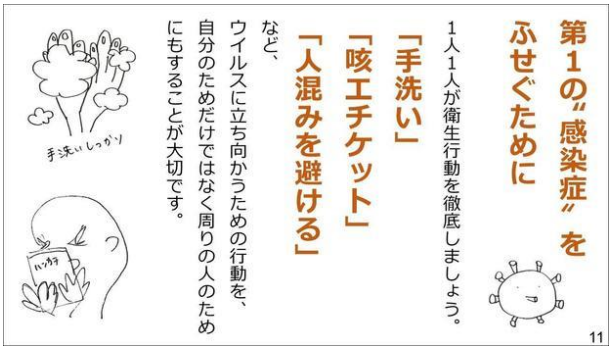
下の図は、日本赤十字社がホームページに出している「新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」から抜粋したものです。

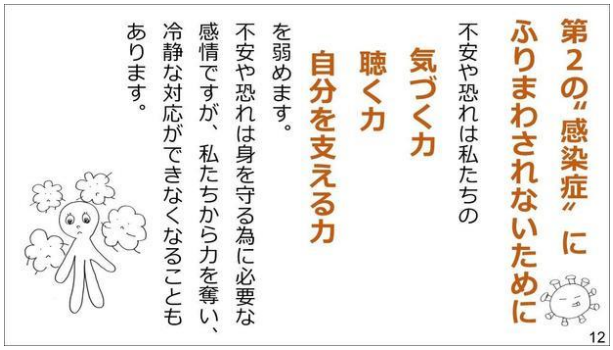


【日本赤十字社 HP より】

ここでは、この３つの“感染症”を防ぐためにどのようなことに気を付けるとよいのかを下図のように紹介しています。

学校でも、学年に応じ、こういったものを使いながら子供たちと考えていきます。各ご家庭でも、話題にしていただき、いっしょに考えていただけたらと思います。





日本赤十字社
「新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう！
～負のスパイラルを断ち切るために～」

令和４年への 思い を込めて　全校書き初め会

１月11日（火）に全校書き初め会を行いました。１、２年生は文章で、３年生以上は言葉で今年に向けた思いを書き表しました。高学年になると、難しい四字熟語を選ぶ子もいて、思わず「何と読むの？」と聞いたり、その意味を国語辞典で調べたりしました。そこにどんな思いが込められているのか、一人一人の顔を思い浮かべながら考えてみようかなと思いました。

東白川小学校 HP

この「全校書き初め会」も含め、校内での活動の様子を学校ホームページで紹介をしています。ぜひご覧ください。

１月の活動記録が開きます→